

## 「ラブアース・クリーンアップ2026」海岸清掃活動 参加報告

### LOVE EARTH CLEAN UP 2026

6月14日(日)、「ラブアース・クリーンアップ2026」海岸清掃活動に参加しました。

ラブアース・クリーンアップとは、1992年5月に福岡市で開催された「ローマ・クラブ福岡会議 イノ九州」を契機に、「地球環境と地域行動」の実践活動として、市民・企業・行政が協力し、福岡市から始まった地域環境美化活動です。九州・沖縄・山口各県にとどまらず、遠く石川県や北海道、更には韓国釜山広域市にまで活動の輪が広がっています。

住友二水会(福岡在住の住友連系44社がメンバー、当社は会長会社)も社会貢献活動の一環として2004年から本行事に参加しており、環境に対する意識の高さを反映して毎年多数の方にご参加いただいています。20回目となる今年は31社から543名の参加となりました。

清掃場所である「国営 海の中道海浜公園」の海岸とクロマツの織りなす風景は、日本の白砂青松100選に選ばれています。当日は清掃活動に適した薄曇りの天候のもと、玄海灘からの心地よい風が吹く中で、子ども連れの方々や社員同士が協力しながら、積極的に清掃活動へ取り組む様子が各所で見受けられました。

近年、「海洋ゴミ問題」は世界的な課題となっており、特にプラスチックゴミは自然分解されず、紫外線や波の影響により5mm以下の微細な粒子となり、「マイクロプラスチック」として海洋中に拡散し、海洋生物や生態系に影響を与えています。海洋プラスチック問題は「ごみ問題」から「地球規模の健康・資源問題」へ進展しつつあります。今回の清掃活動では、約45分間の清掃時間で住友二水会として回収袋約140個分のゴミのほか、袋に入りきれない大きなゴミも回収されました。

住友二水会の清掃場所である「国営 海の中道海浜公園」のゴミの量は年々減少傾向にあるものの、海岸には今年もマイクロプラスチックをはじめとした海洋ゴミが漂着しており、今回それらを回収する活動を通じて、改めて自然分解されないゴミへの対策の重要性や、環境保全活動の意義・必要性を実感する機会となりました。

当社は引き続き、CSR活動の一環として本活動に積極的に参加してまいります。

